



PTA会長 あいさつ

PTA会長 玉 舘 誠

(二年二組 七花)

PTA会員の皆さまには、軽米高校PTA活動にご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

軽米高校を卒業される三年生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業心よりお祝い申し上げます。卒業生のみなさんは三年間の軽米高校で学校生活を終え、自分が目指した進路を実現し堂々と巣立っていく姿に頼もしさを覚え、心より敬意を表したいと思います。おめでとうございます。

本年度こそはコロナが終息しいつも通りの日常が戻って欲しいと期待していましたが、残念ながら大変な状況は変わらない一年となりました。生徒の皆さんはもちろん、保護者の皆さんや先生方には制約の有る中、大変ご苦労されたことと思います。さて本年度のPTA活動は中止等は有りましたが朝の登校時一声運動、環境美化活動、クラスマッチ飲料水配布、二回のPTA会報発行と一通り無事活動を終える事ができました。皆さまのご協力、ご苦勞に感謝申し上げます。ありがとうございました。

個人的にはもつとPTA活動を通じて、沢山の皆さんと話をしたい、お酒を飲みたい(笑)と思つたのが正直なところです。

県のPTAの会議に出席しても聞かれるのは、どの学校もPTA活動が制限され大変だという話。

何か新しいやり方を模索はしているようですが、そう簡単にはなかなか見つからないようです。「活動をやりたくても出来ない」歯がゆい二年が過ぎようとしております。また少子化による軽米高校への入学生の減少を考慮する一年となりました。皆さまのご努力で一年二クラスを維持しております。いろいろな貴重な意見が有りましたので今後何かの形にしていきたいと思つたところです。私達PTAに出来る事は何か？軽米中学校、軽米町内三小学校のPTA、保護者とコミュニケーションを取る事でしょうか。軽米高校の魅力、アドバンテージを少しでも伝える事が出来れば良いのではないのでしょうか。もちろん伝えるためには自身の子供さんの事、軽米高校の事に今まで以上に興味関心を持って頂く事が大事になります。私も頑張りますが、皆さまもよろしくお願ひいたします。

コロナ終息を願ひつつ、来年度のお話したいと思います。

本校PTAでは三年に一度のPTA研修旅行が予定されています。予定通り開催出来る事を楽しみにしております。また6月30日〜7月1日には第71回東北地区高P連盛岡大会が開催予定です。

軽米高校でもコミュニケーション(学校運営協議会)がスタートし学校と地域との関係・連携が一層重視される時代となりました。これからも会員の皆様には一層のご理解とご協力をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

最後に、会員の皆さまのご健勝と軽米高校の益々の躍進、そして卒業生の皆さんの輝ける未来を祈念いたしまして挨拶といたします。

軽高祭

二年二組 尾田川 仁

今年の軽高祭はコロナの影響で例年通りのように開催することができませんでしたが、みんなが協力して、団結した文化祭でした。一年生は「縁日」と「映えスポット」を開くなどして、コロナでもみんなが楽しめるように頑張りました。初め頃の文化祭で少し心配な所がいくつかありましたが、成功したと思います。来年も楽しい軽高祭にできるように頑張りたいです。とてもいい軽高祭でした。

二年二組 菅原 悦

今年の文化祭は、感染対策を徹底した上での開催となり、クラスの出し物もなるべく同士の接触を減らしたものでした。料理の販売やお化け屋敷の催し物はできないということで、来てくれた方が楽しめるものは何か、と考えるのが大変でした。しかし、同級生や先輩方、先生と話を重ねたり企画に協力して頂いたりしたお陰で、軽高祭を無事成功させることができました。実行委員として自分たちで企画を考え、提案し周りの人に協力して頂くのは初めてだったので戸惑った時もありました。しかし、企画が成功した時の達成感、そして委員としての責任感を持つことができ、自分の成長につながったと思います。何もトラブルが無く開催でき、とても良かったと思います。

二年二組 田向 姿月

今年もコロナウイルスの影響でできることが限られ、来校者の皆さんの制限もありました。そんな中、少しでもたくさんの方に楽しんでもらうために、準備に力を入れました。

委員会では、ステージ看板の作製、学級ではジェットコースターの制作をしました。ステージ看板の作成は、作業できる時間が限られて人もなかなか集まらない中、三年生の方たちが時間を割いて手伝ってくれたお陰で完成させることができました。ジェットコースターは、安全面で大丈夫なのか、そもそも完成させることができるのかという不安の声もありました。



でも、先生、親などのサポートをいただき、また、準備期間で試し乗りを何回もしました。ギリギリまで試行錯誤を繰り返して完成させることができ、たくさんの方に乗ってもらうことができました。今回の軽高祭を通して、不安な面がたくさんありましたが、協力し合い、やってよかったと思えるものを作ることができました。

二年二組 中里 理佳

今年の文化祭も新型コロナウイルスの影響で、感染対策に気を遣いながら取り組みました。私たちのクラスは去年と同じeスポーツ大会を開き、みんなが楽しめるようにクラス全員で協力しました。セッティングは去年と同じような感じにしたので、準備がスムーズにでき、当日も何事もなく全員が楽しむことができました。来年もより良い軽高祭にしたいです。

三年一組 軽高祭実行委員長 東山 亮太

今年度の軽高祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同様、様々な企画を縮小しなければなりませんでしたが、制限された軽高祭で、来ていただいた方々を楽しませ、私たちが自身も楽しむために、例年より早くから軽高祭実行委員会での話し合いを重ねてきました。保護者の方々や中学生の皆さんには、制限させていただいて開催しましたが、日頃の学校生活での成果を発表することができました。楽しみ、楽しませるだけでなく、自分たちの成長を伝えることができました。軽高祭でした。

三年二組 坂上 由佳

今年度の軽高祭は感染症拡大を予防すべく昨年度と同じ、規模を縮小して行われました。



学年の様子 第一学年

4月9日に入学式を迎えた47名は、大きな事件事故等も無く、皆でここまで無事に学校生活を送ることができました。これも日頃から生徒達を支えてくださるご家庭のお力添えによるものと心から感謝しております。

生徒達は、入学直後から「高校生活は自立に向けた準備期間」と伝えられ、社会の実態を知り、自分の将来を意識しながら、様々な活動の中で今後繋がる学びを得てきました。「地域探究」では、班毎に自分達でテーマを設定し、地域の大人から直接お話を伺うなど現地向けながら、地域の活性化を目指して主体的に活動しています。また、「被災地訪問」を「語り部オンライン学習」に変更するなどコロナ禍の安全に配慮しつつも、「進路見学（企業/大学）」や「エネルギー教室」など現場で学ぶ機会が充実しました。

学年の様子 第二学年

未熟な点も多々ありますが、学習や部活動等で日々小さな成長を感じ合っている中で、切磋琢磨する学年を目指して、今後も尽力していきます。

保護者の皆様におかれましては5月25日開催の学年PTAや7月・12月の三者面談にご出席いただき誠にありがとうございました。コロナ禍ではありましたが日々の学習や学校生活を安心安全に、かつ充実して送ることができましたのも保護者のご理解とご協力のおかげと感謝しております。

2学年は「総合的な探究の時間」を通して、地域を思い、地域の発展を考え、地域の課題を見出し、地域の課題解決を目指し、地域の担い手となるべく「かえるま Research」に取り組みで参りました。9月29日には「魅力化事業」として軽米町役場を訪ね、新設される交流駅の活用方法に



ついで意見を交わしてきました。また、岩手県農業研究センター県北農業研究所を見学し、スマート農業に関する研究について学びました。さらに、令和4年4月から18歳成人となることを見据え、12月3日に軽米町議会を傍聴し町政について考える機会をいただきました。

来年度は地域や進路に目を向け、大きく飛躍できるように取り組んで参ります。

全国大会出場

陸上・インターハイ

三年二組 小笠原 彩 夏

今年度、一年生の頃から目標としていたインターハイに出場することができました。今年度は記録が伸び悩んだ時期もありましたが、今までの努力がこのような結果となりうれしかったです。

インターハイでは思うような結果を残せなかったものの、全国の舞台で実力のある選手たちと試合ができたことで、今後の課題や目標が明確になりました。進学後も日々努力し、全国で活躍できる選手になれるよう取り組んでいきたいと思っています。

応援ありがとうございました。



全国書道展で入賞

三年二組 小林 祐佳

私は、この度の受賞で、約三年間の部活動を通して頑張ってきた本当に良かったと感じることができました。

一年生の頃は、慣れない書体で大きな紙に書くというところに、上手く書けるようになるのだろうかと思っていました。また、先輩方の作品を見て、展覧会で他校の生徒の作品を見たりして、私も迫力ある作品を書けるようになりたいと思いました。

二年生の頃は、自分が納得できる作品に近づけられ

るようになりました。また、私は部長を任せてもらったので、より一層部活動を頑張ろうと思いました。

三年生になってからは、筆の扱い方や書き方に慣れ、自分が理想とする作品を表現できるようになりました。一年生の頃に書いた作品と三年生になってから書いた作品を見比べてみると、とても雰囲気が変わり、迫力のある作品を書けるようになったと感じることができました。これからも、努力することを忘れずに様々な事に取り組みたいです。



全国選抜卓球大会出場にあたって

三年二組 澤 康大

1月10日に盛岡市タカヤアリーナで開かれた全国選抜卓球大会の岩手県予選で1位になり3月18日から栃木県宇都宮市で開かれる全国選抜卓球大会に出場することになりました。このような結果を残すことができたのは両親はもちろん、今まで僕を指導してくれたコーチの方々、同じ卓球部のみんなのおかげだと思います。ありがとうございます。

僕は小学校から卓球を続けてきて、卓球を続けるために軽米高校へ入学しました。軽米高校で男子団体で3度にわたって東北大会に出場することができ、今度は個人の部で全国大会に出場できたことはとてもうれしいです。全国大会ではどの選手も実力があって、正直どこまで勝ち進めるかができるかわかりませんが、まずは初戦を突破できるように頑張りたいと思います。

そして、この経験を高校3年生最後の高総体につなげ、専北の選手など格上の相手と戦えるようにしたいです。これからも応援よろしくお願ひします。



海外派遣事業

令和四年一月五日から八日まで、軽米町と一戸町の共同企画である「中高生海外派遣事業」に本校より4名が参加しました。今年度は福島県のO.P.S.エスを会場に実施されました。この施設は「パスポートのいらぬ英国」をキャッチコピーとしており、語学やイギリス文化を学習してきました。

三年一組 長者森ひより

一時を過ごした。

私は一月五日から四日間行われた海外派遣研修に参加しました。授業では、基本的な文法や発音、ディスカッションやSDGsなどについて勉強しました。自分の言いたいことを英語で表現するのは難しかったですが、先生の力を借りて話すことが出来たので嬉しかったです。私は英語が得意ではなかったため研修をしっかりと出来るか不安でしたが、現地の先生やスタッフの皆さんのおかげでやりきることが出来ました。これから進学して、社会人になった時に英語に触れる機会はあると思うので、今回の研修での経験を生かして行きたいです。

三年二組 駒目 凜

海外派遣事業に参加してみて、私は自分の英語力が上がったとはあまり思いませんでした。ですが、他に大きく変化したことがありました。それは、海外の方と英語で会話することのハードルの高さです。以前は、海外の方と会話するにはある程度流暢に英語を話すことができなかったらならないという気持ちがあったため、研修に対しての不安や、参加を後悔することも多々ありました。現地での私の英語は、文法や言葉選びが適切でないことも多くありましたが、海外スタッフの方々と難なく会話することができました。そこで私は、重要なことは、流暢さではなく、伝えようとする気持ちと努力であると再認識しました。この経験は、英会話へのハードルを一気に下げたように感じます。これからは、さらに語彙を増やし、いつか自分の英語で海外旅行に挑戦したいです。

二年二組 西館すみれ
三年二組 榎澤 美佑

一月五日から四日間、福島県のプリティッシュヒルズでの海外派遣事業に参加した。知らない人たちと、英語のみのコミュニケーションをとるといふことにも不安を感じていたが、施設の方がフレンドリーに接してくださり、円滑にはいかずともネイティブな会話を体験することができた。

また、SDGsについて、考える授業では、海外にしかない文化からSDGsに対する考察を深めた。日本では馴染みのない生活用品もあり、参加者みんなで頭を悩ませながら英語でのプレゼンテーションを行った。ヒルズ内にはパブがあり、パーティーやフィッシュアンドチップスを異国情緒あふれる空間で楽しむことができた。暖炉やピアノがあり、映画のよつな



二学年 保護者から

学年監事 川原 純子

(三年二組 歩士)

「卒業おめでとうございます。三年前、「勉強も部活動も頑張りたい」と入学してから、瞬く間に卒業を迎えました。思い返すと、学校生活においては、仲間達と色々な行事をこなし、勉学に励み、進路も支え合い、生徒会でも沢山の事を学んだと思います。特に、先生方には、コロナ禍での不自由さの中でも、一人一人に寄り添い、個人に合ったより良い指導をしていただきました。

部活動においても、誠実な顧問の先生、技術指導のコーチ、協力を惜しまない保護者方、認め合えるパートナー、優しい先輩方、慕ってられる後輩達のおかげで、頑張る事が出来たと思います。皆の力で勝ち取った東北大会出場は、私達親にとっても、コロナ禍無観客の悔しさを超える喜びとなりました。

今後は、高校生活での学びや思い出を糧とし、人々の役に立てる人生を歩んでほしいと願っています。これまで、携わっていただいた全ての方々に、心より感謝いたします。



各委員会より

環境整備委員会(一学年担当)

委員長 松田 梨恵(一年二組 陽樹)

今年度の活動は、六月に花壇の土おこしと苗植えました。蒸し暑い中でしたが、何かと天候にも恵まれ、保護者の皆様と先生方のご協力のもと無事に作業をすることができました。

今年も新型コロナウイルスの影響で、同日行われたクラスマッチの観戦はできませんでしたが、生徒達が少しでも学校行事を開催できてよかったと思います。コロナ禍で暗い感じの世の中ですが、軽米高校に登校してくる生徒達に、花壇の花の色どりが心の和みと明るさを見せてくれていたら幸いと思います。花が成長するように、生徒達も明るく希望を持って成長していけたらと願っています。

活動にご協力いただいた保護者の皆様、先生方、ありがとうございます。



広報委員会(二学年担当)

委員長 榎澤 順子(二年二組 美佑)

今年度の広報委員会の活動は、例年通り二回のPTA会報を無事に発行することができました。

行事やPTA活動が制限され、学校に行く機会が少なくなっている中、広報を通じて保護者の皆様に活動をお知らせできたなら幸いです。

快く原稿依頼を引き受けてくださいました各委員の皆様、生徒の皆様、先生方ありがとうございました。



生活指導委員会(三学年担当)

副委員長 戸田 育子(三年一組 風詩)

5/10、5/17に「朝の一声運動」に参加しました。校門に響いたのは、「おはようござい

ます」というさわやかなあいさつでした。生徒、生活指導委員、先生方で、子どもたちに明るく「おはようございます」と声を掛けると、元気にあいさつを返してくれる生徒や少し照れくさそうな生徒、まだ眠気が抜けていないのかな？と思われる生徒の姿が見受けられました。朝から元気にあいさつをすると、明るく1日が始まる気がしました。

新型コロナウイルスの感染拡大がとどまらない中、以前のように大きな声を出して、あいさつをすることがはばかられる時代です。しかし、あいさつに込められた気持ちは今までも、そしてこれからも変わらぬ大切なしていくべきものです。一日でも早く、自然に心を込めてあいさつを合わせるような世の中になることを切に願っております。



母親委員会

委員長 圃田 満美子

(二年一組 康生・悠生、三年二組 咲弥)

母親委員会の活動はクラスマッチでの飲料水配布のみでした。軽高祭で運営される「カレーハウスお母さん」は母親委員会にとってメインの活動であり、委員以外の方々にもお手伝いいただきながら運営され大変でも楽しい活動です。しかし、制限された二年間活動できていないことで、経験した保護者も生徒も減り大変寂しく残念に思います。

今年度は、新しく活動できる内容を検討してきました。活動には



至りませんでした。SNSを用いた委員の皆さんの意見交換では様々な視点からの発見があり、とても刺激を受けました。今後の参考になればと思います。

活動について相談に乗ってくださった先生方、委員の皆様、ありがとうございます。学校と家庭をつなぐ本来の母親委員会の活動をできる日が一日でも早く戻ることを願っております。

編集後記

広報委員会副委員長

下谷地 雪雄(二年二組 雄紀)

今年度も、コロナの影響を受けた一年だったな……。それでも、PTA会報の為に原稿等のご協力してくれた皆様、本当にありがとうございます。お陰様で無事、PTA会報を発行することができました。

何も無い一年と思いきや、男子卓球部で、明るい大きな出来事！その事を励みに、これからも感染対策をしっかりとし、頑張ってくださいませよう。

「来年こそ、良い年で有りますように」



委員長 榎澤 順子(二年二組 美佑)
副委員長 下谷地 雪雄(二年二組 雄紀)
学年監事 原田 由紀子(二年一組 笑幸)
学年監事 古館 陽子(二年一組 美沙姫)
兼母親委員 間澤 ルミ子(二年一組 康大)
兼母親委員 関向 朱実(二年二組 怜奈)

発行 岩手県立軽米高等学校PTA事務局

電話 〇一九五―四六―二三三〇

FAX 〇一九五―四六―三三九二八

印刷 株式会社久慈印刷



数字で見る軽米の変化

校長 金濱 千明

私、昨年度に引き続き、校長として二年目、以前教諭で六年勤めていますので通算八年目の勤務になりました。PTAおよび同窓会員の皆さまには、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私は定期的に軽米町のホームページを閲覧していますが、先頃（令和三年十二月）、町政要覧資料編がアップされましたので目を通してみました。私が以前、本校に勤めていた頃との変化に目が行ってしまうのですが、大きな特徴として「町民平均所得の向上」と「産業別就業割合の変化」があると感じました。町民一人当たりの平均所得については、昭和六〇年の二二二万円から、平成三〇年の二四二万円にはほぼ倍増していること示されています。その要因となっているのが産業別就業割合の変化であるように思えます。昭和六〇年が第一次産業の就業比率が五割弱であったのが、平成二七年には第一次産業以外の比率が七割強となっており、給与所得による生活基盤をもつ世帯が大きく増えたことが伺えます。大量生産・大量消費の時代と言われて随分経ちましたが、大量消費のために現金が必要となる訳ですので、国内の標準的な生活をしようと思えば、軽米町におけるこのような変化は至極当然の変化であると受け止めます。

軽米町における産業構造の変化は軽高生の進路にも大きな影響を及ぼしました。高校卒業後の進学状況を示す指標「大学等進学率」

について、軽米町のデータを調べてみると昭和六〇年に十二%弱でしたが、平成二七年には四四%弱と大きく伸びております。進学にかかる経済的負担を賄える家庭が増えた結果であると考えられますし、子どもがより安定した収入を得られるよう望む保護者の意向も働いていると思います。かつて経済的な理由で進学を断念した生徒がいた事実を知る私としては、地域が豊かになっていることを嬉しく思います。一方、就職は大きく減り、昭和六〇年に六六%だった就職率は、平成二七年は二〇%となっています。

進学率の向上は別の変化をもたらしました。人口減の問題です。人口の減少の原因は少子高齢化ですが、地方の市町村での人口動態では一八歳年齢の人口流出が顕著であり、そのうち何年か経て地元に戻ってくる割合が低いことが人口減の一因と言われており、軽米の場合も例外ではありません。生徒・保護者の希望する進路選択と言えば、その通りですが、多くの生徒が進学・就職を機に軽米を離れています。「地域の高校として何かできないか？」と思いを巡らせませんが、現状としては、生徒一人ひとりにやがて軽米に戻ってくる選択肢があるようにと願い、「地域理解のための探究学習」を行っているに留まっています。軽米の良さや課題を知ったうえで、彼らがいっつか軽米の将来と発展を担う人材となることを願うものです。

今後も皆さまからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和4年2月18日現在

令和3年度 進学就職状況

【進学】

| | 男子 | | 女子 | | 計 | |
|------------|------|------|------|------|------|------|
| | 進学実数 | 合格延数 | 進学実数 | 合格延数 | 進学実数 | 合格延数 |
| 国公立大学 | 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | 5 |
| 私立大学 | 3 | 7 | 3 | 5 | 6 | 12 |
| 国公立短期大学 | | | | | 0 | 0 |
| 私立短期大学 | | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 医療系専門学校 | 4 | 5 | 5 | 6 | 9 | 11 |
| 専門学校(除医療系) | 3 | 3 | 5 | 5 | 8 | 8 |
| 計 | 12 | 17 | 17 | 20 | 29 | 37 |

※進学実数については現時点での予定数である

【公務員内訳】

【県内】
 国家公務員一般職(2)
 岩手県職員採用Ⅲ種(2)
 軽米町職員(2)
 自衛隊 一般書候補生
 自衛隊 自衛官候補生(2)

【民間就職】

| | 男子 | 女子 | 計 |
|----|----|----|---|
| 管内 | 2 | 3 | 5 |
| 県内 | 1 | | 1 |
| 県外 | 1 | 1 | 2 |
| 計 | 4 | 4 | 8 |

【民間就職内訳】

| | |
|---------|-------------------|
| 【D販売】 | 株式会社 ENEOSウイング |
| 【Eサービス】 | セコム山梨株式会社 |
| | グッドライフケア東京 |
| 【H生産】 | 株式会社 小松製菓 |
| | 二戸時計工業株式会社 |
| | 株式会社 あへはんグループ |
| | 十文字チキンカンパニー 種類鶏卵課 |
| 【J建設】 | 株式会社丹野組 |

令和3年度(令和4年3月)卒業生徒数
 男子23名 女子22名 計45名

【医療系専門学校】
 北海道どうぶつ医療専門学校
 八戸市立准看護学院
 八戸看護専門学校(3)
 二戸高等看護学院(2)
 盛岡医療福祉専門学校(2)
 仙台医療福祉専門学校
 埼玉県立高等看護学院

【専門学校・各種専修学校(医療系は除く)】

仙台工科専門学校
 二戸高等技術専門学校
 MCL盛岡公務員法律専門学校
 北日本ヘア・スタイリストカレッジ
 東北愛犬専門学校
 大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校
 北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ
 北上コンピュータアカデミー

<>内は延べ数

【公務員】

| | 男子 | | 女子 | | 計 | |
|----|------|------|------|------|------|------|
| | 就職実数 | 合格延数 | 就職実数 | 合格延数 | 就職実数 | 合格延数 |
| 管内 | 1 | 2 | | | 1 | 2 |
| 県内 | 2 | 2 | | | 2 | 2 |
| 県外 | 2 | 5 | | | 2 | 5 |
| 計 | 5 | 9 | 0 | 0 | 5 | 9 |

【国公立大学】

岩手大学 教育学部 小学校教育課程
 岩手大学 理工学部 システム創成工学科
 岩手県立大学 社会福祉学部 人間福祉学科
 山形大学 人文社会学部 人文社会学科
 山形大学 工学部 機械システム工学科

【私立大学】

八戸工業大学 工学部 生命環境学科(2)
 八戸学院大学 健康医療学部 看護学科
 八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科(4)
 富士大学 経済学部 経済学科
 石巻専修大学 理工学部 情報電子工学
 仙台大学 体育学部 体育学科
 東北化学工業大学 工学部 知能情報システム学科
 東京女子体育大学 体育学部 体育学科
 東海大学 国際文化学部 国際コミュニケーション学科

【私立短期大学】

八戸学院大学短期大学部・幼児保育学科

